

自然の博物館の四季

飯田 徹

当館は豊かな自然の中にあります。周辺の環境も含めて博物館のフィールドと言ってよいかもしれません。これらの自然は、季節によって様々な表情を見せてくれます。

ここでは私が着任以来撮りためた写真の中から、一押し(?)の一枚でその魅力を紹介します。

「春」 - 色とりどりに -

この季節の長瀬は、何ととっても満開の桜。桜並木以外にも見どころが……。ここはウグイスの鳴き声に誘われて見つけた場所です。



橋梁と桜と川の流れ
運がよければ、頭上に電車、川面に舟下りの姿が！

「夏」 - まぶしい緑 -

緑濃いヒマラヤ杉やカエデに守られ、漏れる陽光に目を細めながら、博物館の自然を満喫するのはいかがでしょうか。



「カエデの森」の園路でひと休み

「秋」 - あざやかな赤 -

木々の葉が赤く色づく紅葉も素敵ですが、その少し前の時期には、足元一面が紅い花で埋め尽くされる場所に出会えました。



ヒガンバナが秋の訪れを教えてくれる

「冬」 - 澄んだ空気と柔らかな光 -

葉を落とした木々。長く伸びた影がレンガ色に映し出されます。その奥には透き通るような空。この季節ならではの楽しみ方があります。



誰もいない時間、博物館を独り占め



…と思ったら 先客が…



ストレッチしてリラックス！

窮屈な日常からしばし離れ、季節毎にお気に入りの長瀬を、自然の博物館の魅力を発見していただけたらうれしく思います。

(いいだ とおる・館長)